

総合的な評価を用いた指導の一例

～自閉症スペクトラム障がいをもつ軽度知的障がいの児童への国語科の指導～

わたしは 坂田 はるこ 小学2年生

将来の夢は パティシエ！

好きな食べ物は ゆずまんじゅう

星のカービィ だーいすき！

ストリートファイターゼルダの伝説 好きだー！

上羽 奈津美 (熊本大学教育学部附属特別支援学校)
 仁野平 智明 (熊本大学大学院教育学研究科)
 藤田 豊 (熊本大学大学院人文社会科学研究所)
 干川 隆 (熊本大学大学院教育学研究科)

年間目標(5つのうち特に国語に関する目標のみを抜粋)
 2行程の問題文を読み、尋ねられている意図を読み取って正しく答えることができる。

前期目標:「どこで」「何を」「どうだった」を用いて日記を書くことができる。
後期目標:5W1Hに言葉や文章で答えることができる。
 2年生の漢字を覚えて読み書きをすることができる。

※自立活動:話を聞き「求められていること」を正しく聞き取り行動することができる
 (自立活動における項目:人間関係の形成,環境の把握,コミュニケーション)

教員の行動観察による見取りから…
坂田さんの得意

- 紙面, 掲示物, スクリーン等から視覚的に物事を捉えること
- 本や漫画を読むこと
- 慣れた教員とのかかわり
- 熊本弁を理解していること

発達検査より

言語理解65
 知覚推理76
 ワーキングメモリー71
 処理速度94

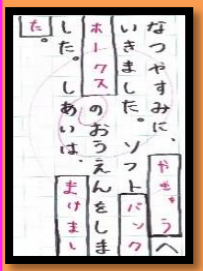
<評価>
 耳から聞いた言語的な情報から理解し, 考え, 表現することよりも, 目で見た情報から理解し, 考え, 表現することのほうが得意

教員の行動観察による見取りから…
坂田さんの苦手

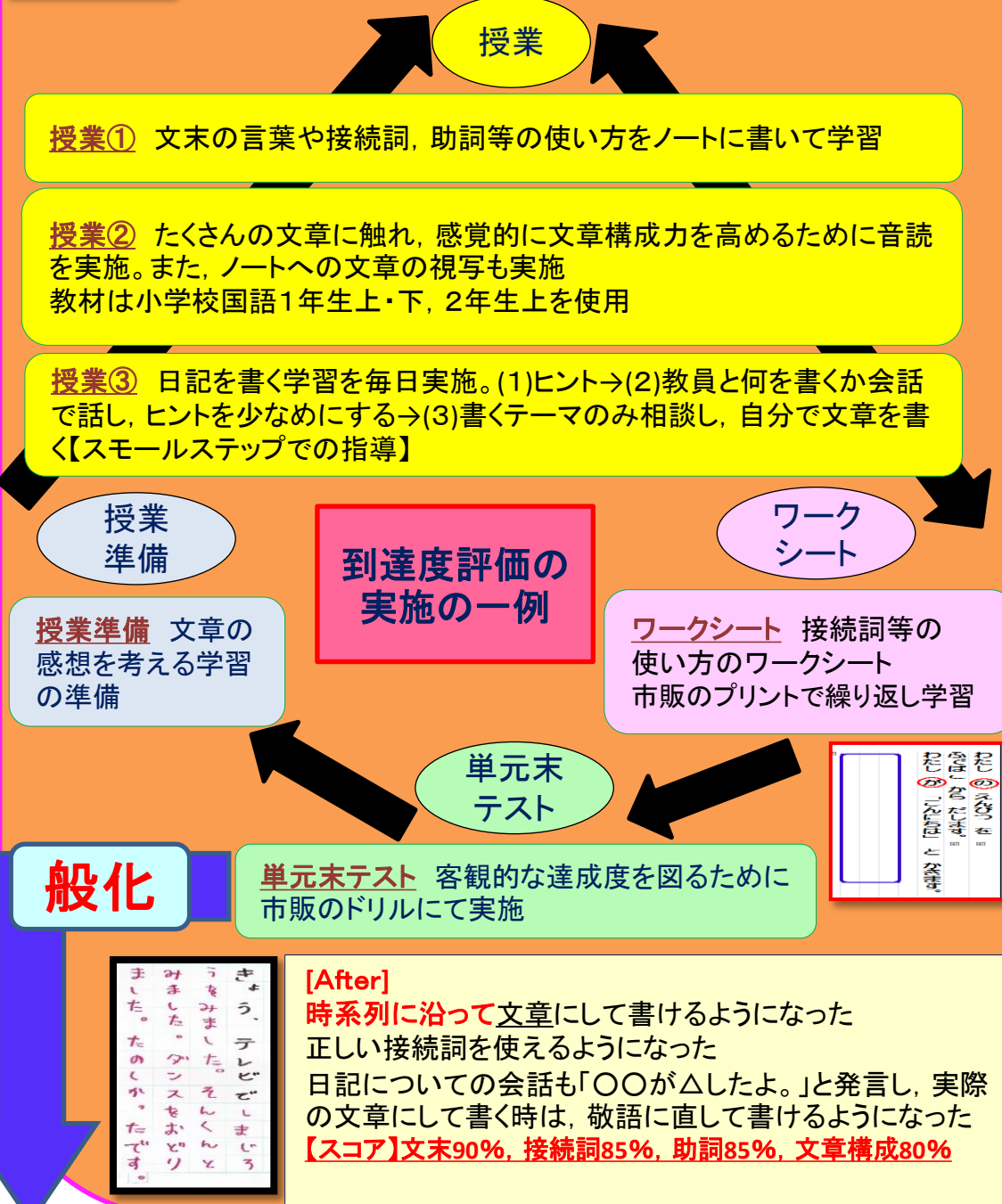
- 慣れない人の声を聞き取ること
- まちがえること
- ブブー等まちがえの音
- 1番目になれないこと
- 相手を見ること

授業のPDCAサイクルにおける実践の成果

時系列に沿った日記を書いてみよう!
 ～書く [小学部3段階及び小学校低学年段階を学習] の例～



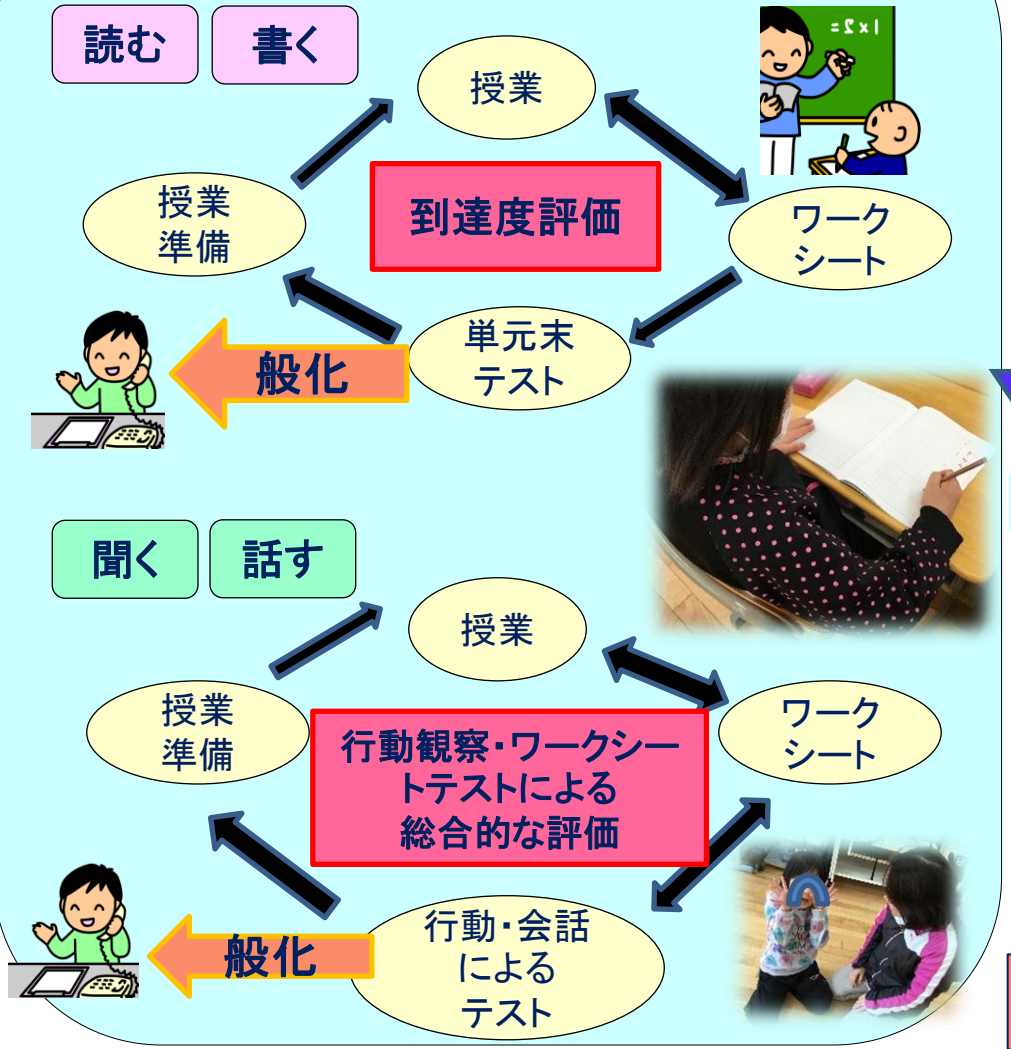
[Before]
 赤字の部分のみの記入
 ヒントがないと書くのが困難
 日記についての発言も, 尋ねたことに対して“単語”で答える程度
【スコア】文末0%, 接続詞10%, 助詞0%, 文章構成5%



主体的・対話的で深い学びの実現へ向けて ～坂田さんと特に大切にしてきた必須アイテム～

- 内容・思考の整理のための記述
- 紙面による視覚化
- 紙面→実動→日常生活への般化
- 1時間内で取り扱う学習の順序
- 生活に即した学び

授業のPDCAサイクルにおける評価方法



日常生活における姿の変容

- “書く”の学習を通して5W1Hの理解が高まり, こちらからの質問に対して接続詞を交えて文で答えるようになった。
- 点々としていた会話が文になり時系列で話せるようになった。
 例:「レンジが壊れてパイパイしたから新しいのがきた。いっぱい料理ができるね」「お母さんと弟と映画館に行こう! ポップコーンとジュースを一緒に飲もう!」
- コミュニケーションアセスメントの数値が向上した。
【スコア一例】あいさつ2.8→4.3 感情表出3.8→4.8 他者理解行動2.4→3.7
 ※5点満点数値は4月→12月の変容
- ★書く学習を通してコミュニケーション力が向上し, 言葉でのやりとりが増えたこともあり, 日常会話のなかで“熊本弁”を使って話すことが度々聞かれるようになった。

到達度評価や, 総合的な評価を適宜活用することで, 子どもの学びをしっかりと確認することができ, 子どもの姿の変容からも有効性が高い